

『感動』と『学び』

校長 矢島 孝幸

今年の夏も暑い毎日でした。また、7月の熊本の地震、8月の千葉の大雨、大きな災害もありました。犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興と平穏な生活が戻りますことを祈念いたします。

さて、40日間の夏休みがあつという間に過ぎ去り、学校に子どもたちが戻ってきます。どの子どももそれぞれの思いをもった夏休みだったでしょう。学校生活とは違う日々を過ごしたと思います。各教室で夏休みを振り返り、『自分の40日間の思い出』を語り合う時間が、あることが想像されます。

私はどのような時間を過ごしたかというところ…。私にとって一番の思い出は、登山をしたことです。白馬三山（白馬岳・杓子岳・白馬鑓ヶ岳）を縦走しました。10年前に同じコースの登山をしたのですが、その時は天候に恵まれず、稜線を歩いていても両サイドの景色が全く見えず、とても残念でした。その時にいつか必ず壮大な景色を見てみたいと思っておりました。その後、なかなかそのチャンスに恵まれず、ようやく今年リベンジすることができました。稜線沿いの画像や映像を見ることはあっても、やはり自分の目で本物の素晴らしい景色を見ると『感動』しかありません。稜線の両サイドに見える、北アルプスの山々、下界の景色、雲海、ずっと続く山の稜線等、目の前に広がる景色は言葉では簡単に表すことができない『感動』をあたえてくれました。ただ、やはり登山です。体力に合わせてゆっくりと登っていても体力的にきつい時がありました。そんな時に突然雷鳥が目の前に現れて、疲れを癒してくれました。雷鳥は国の特別天然記念物および絶滅危惧種に指定されている貴重な鳥です。その雷鳥を間近に見ることができる『感動』も登山の醍醐味かもしれません。私は、今回のような本格的な登山をしたのは久しぶりです。10年ぶりの白馬三山の登山は、体力的な衰え(?)による辛さを何回も感じました。でも、その辛さを忘れさせてくれる『感動』を得ることができ、夏の思い出となりました。



もうひとつは『かこさとし ふるさと絵本館』を訪ねたことです。かこさんの絵本で代表的な作品は『だるまちゃんとてんぐちゃん』『からすのパンやさん』等があります。絵本は知っていましたが、絵本館を見学し、かこさんは絵本を通して子どもたちに伝えたいメッセージがたくさんあったことを知ることができました。絵本に込められたメッセージをひとつ紹介します。

『自分の頭で考え、自分を変えていく力』

大人の言うことにただ従うのではなく、自分でよく見、自分で考え、行動してほしい。はじめは考えなしにやったっていい。しくじることもあるだろう。だけど、しまったと思ったら、次は考えろ。自分でよく考えて、自分をちょっとずつ変えていけばいい。そうして失敗を乗り越えてゆけるのが人間で、君もその一員なんだよ。



私の夏は『感動』と『学び』でした。夏休み明け、子どもたちにとって『感動』や『学び』がある学校となるよう頑張っていきたいと思います。